

若い世代へ発信

化学の魅力



「夏休み子ども化学実験ショー2025」が開催された(日本化学工業協会提供)

夏休み体験型イベントに6000人 子ども化学実験ショー

「夢・化学-21」委員会は実験教室や実験ショーを通じて化学の不思議さや魅力を伝えている。8月2、3の両日、化学の楽しさに触れる参加体験型イベント「夏休み子ども化学実験ショー2025」が科学技術館(東京都千代田区)で開催された。昨年と同様に自由入場制で実施し、両日で子どもたちを含む約6000人が参加した。

同イベントは1993年から開催され、今年で30回目となる。小学生から中学生までを対象に16の化学企業・団体が出展し、会場を盛り上げた。実験に参加して楽しむ「化学実験教室」とクイズに答えるなどして楽しむ「ステージイベント」の2種類を設け、参加した子どもたちに化学の魅力を伝えた。

化学実験教室では、「粘着」の仕組み

を使ったオリジナルシールの作成や、ポリエチレンフィルムを用いたオリジナル万華鏡の作成、アルミホイルと炭を使って蓄電池を作る実験など、バラエティーに富んだ全16プログラムを実施した。ステージイベントでは、学校や研究所の先生が実験を行いながら途中でクイズを出題する「なぜナニ化学クイズショー」や、YouTube(ユーチューブ)チャンネル「GENKI LABO」を運営する市岡元気氏のサイエンスライブが行われた。



●初の試み

みらいの素材コーナー

「夏休み子ども化学実験ショー2025」では、初の試みとして「みらいの素材コーナー」が設けられた。「みらいが変わる、ゆたかに変わる、べんりに変わる、化学が変わる。」をテーマに先端化学素材や技術が展示された。8社の企業が参加し、親子で楽しむ様子が見られた。

無用の用
幸運は準備された心に宿る
金属のジャングルジム

親子で楽しむ「みらいの素材コーナー」(日本化学工業協会提供)

The NOBEL PRIZE in CHEMISTRY

京都大学 特別教授 北川進氏



を超えており、さまざまな分野での応用が期待されている。
受賞決定にあたって8日に会見した北川氏はチームプレーの重要性を強調し、「これからは気体の時代になる」と意気込んだ。

2025年のノーベル化学賞は、京都大学の北川進特別教授ら3人が選ばれた。授賞理由は「金属有機構造体(MOF)の開発」に対する功績。日本出身のノーベル賞受賞者は個人では30人。化学賞の受賞は19年の旭化成の吉野彰名誉フェローに続き9人目となった。授賞式は12月10日にストックホルムで開催される。
MOFは多孔性配位高分子(PPC)とも呼ばれ、金属イオンと有機材料からなる、有機物と無機物のハイブリッドの多孔性物質。イオン交換材料や触媒、吸着材料などに使われ、幅広い産業応用が進む。
多孔性材料は分子やイオンなどの標的物質を低エネルギーで効率よく認識し、捕捉や分離、貯蔵、凝縮、変換を行える。北川氏はその機能を最大限に高めるため、PPCの合成に取り組み、1997年に成功した。現在、設計できるPPCの種類は10万種類

日刊工業新聞社が刊行する技術雑誌の記事が読める!

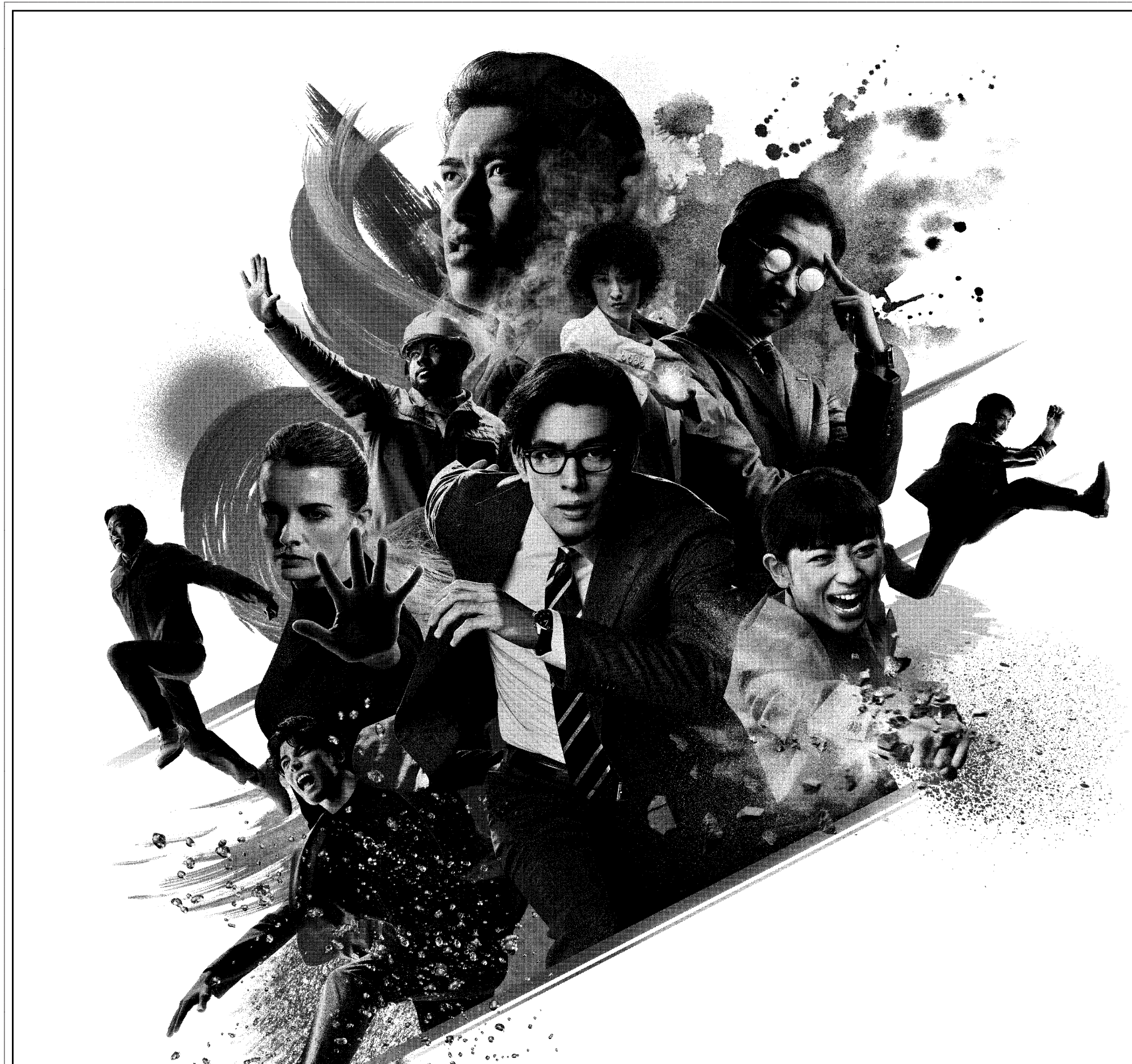


工場マガジンラック Q

はみだせ! うみだせ! 旭化成

誰かが決めたルールに、しばられない発想を。
誰かが決めた限界を、壊していく活動を。
誰かが決めた常識を、疑っていく哲学を。
誰かが決めた枠組みに、おさまらない夢を。
技術、という共通の言語で。
企業も、国も、文化も超えて。
すべてのいのちと暮らしに貢献するために。

AsahiKASEI





カーボンニュートラル

石化コンビナートのグリーン化は1社では難しい
(三井化学市原工場)

化学再編後押し

「脱炭素」実現へ生き残り 再編 協業

再編

三井化学と出光興産、住友化学は9月に、汎用樹脂のポリプロピレン（PP）とポリエチレン（PE）事業を統合することで基本合意した。三井化学と出光の共同出資会社に住友化学が合流する方向で検討する。3社は千葉県の京葉コンビナートに主力工場を構えており、PPなどのポリオレフィン（PO）事業統合によるシナジーを發揮しやすくと判断した。2026年4月に統合を完了し、年間80億円以上の合理化を見込んでいる。

資源循環は資源に乏しい日本にとって重要課題（三菱ケミカルのケミカルリサイクルプラント）



CTOサミット



日本化学会は7月25日、化学会館（東京都千代田区）で「第3回CTOサミット」研究開発からみたカーボンニュートラル実現への道のり〜カーボンニュートラルの本音を語ろう〜を開催した。企業のマネジメント層を中心に約170人が参加し、活発な議論を行った。第一部では化学系企業や文部科学省の取り組みが紹介され、第二部ではパネル討論と質疑応答が行われた。参加者は社会課題に対する産業界の取り組みに関心が高く、カーボンニュートラルへの対応などに多くの質疑が集中した。CTOサミットは、研究開発や経営企画のマネジメント層が一堂に会し、率直に意見交換を行える場として、今後も年1回の開催を予定している。

カーボンニュートラルに質疑集中

三洋化成は電気自動車（EV）向け添加剤を開発した。EVの潤滑油はモーター冷却のため低粘度化が進む。耐摩耗性・耐燃焼性を保持しつつ同添加剤が十分な油膜厚を形成し、駆動ユニット部品の故障リスクを低減する。

環境対応技術——開発着々

カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに資する製品・技術開発も業界内で活発だ。

バイオ由来

東ソーはバイオ原料を使った特殊合成ゴム「クロロスルホン化ポリエチレン」を世界で初めて開発し、量産化技術を確認した。製品の炭素厚手のうち90%以上をバイオ由来成分に置き換え、製造から廃棄までのライフサイクル全体の温室効果ガス（GHG）排出量を従来比約30%削減できるといふ。サンプル提供を進めて早期の発売を目指す。

同社のクロロスルホン化ポリエチレンは工業用ホースや接着剤、ハンドレールなどに活用されている。もともと一般的なプラスチックより



陸上養殖プラント（エア・ウォーター提供）

資源循環

エア・ウォーターは産業ガスで培ったグリーンテックノロジーを生かし、脱炭素社会の実現に貢献する。地産地消エネルギーによる資源循環モデルの開発拠点「地球の恵みファーム・松本」はその取り組みの中核をなす。

バイオマスガス化発電プラント、メタン発酵発電プラント、陸上養殖プラント、農業ハウスで構成し、企業連携による地域単位のエネルギー・資源マネジメントを先行実証している。未利用材や廃棄物から、カーボンニュートラル資源を獲得し、持続可能な資源循環の構築を目指す。

創造を止めるな、想像を超えろ。

世界を変えるきっかけは、私たちが創り出す。

<https://www.jsr.co.jp>

わずかで確かな宇宙の恩恵。

高度な採掘・精製を必要とする希少鉱物。
採掘される量は、ルテニウムが年間30t。イリジウムはたったのバスタブ一杯分です。
このわずかな宇宙の恩恵をフルヤ金属は余すことなく社会の発展に役立てます。

オンリーワンで社会の繁栄に貢献する
KFK フルヤ金属

本社：東京都豊島区南大塚2-37-5
つくば工場：茨城県筑西市森添島1915 下館第一工業団地
土浦工場：茨城県土浦市沢辺57-4 東筑波新治工業団地

03(5977)3388
0296(25)3434
029(830)6777

<https://www.furuyametals.co.jp/>

未来が変わる。発想が変わる。

三井化学の原動力。
それは、止まない好奇心。
そこから生まれる発想力。

一人ひとりの創造性を結集し、
何もないところからイチを生み出す化学の力で
多様な未来を実現する。

0→1 MAKE IT HAPPEN

www.mitsuichemicals.com

化学系団体 TOP MESSAGE

カーボンニュートラル実現へ加速

多岐の国際紛争の影響も、日本の化学産業が20
や保護主義の台頭により、50年のカーボンニュート
取り巻く事業環境は不確実
性」と不透明感が増している
る。こうした中であつて

「持続可能な社会の確立」を自
指すという方向性は変わら
ない。
我々化学産業は、社会に
必要な製品を安定的に供給
するエッセンシャル産業と
して、経済・社会の諸問題
に対応していくことはもと
より、カーボンニュートラ
ル、循環型社会の実現にお
いて、その基盤技術とさま
ざまな素材供給力により、
極めて重要な役割を担うセ
クターである。
そして、環境規制への対



日本化学工業協会 会長

岩田 圭一氏

「持続可能な社会の確立」を自
指すという方向性は変わら
ない。
我々化学産業は、社会に
必要な製品を安定的に供給
するエッセンシャル産業と
して、経済・社会の諸問題
に対応していくことはもと
より、カーボンニュートラ
ル、循環型社会の実現にお
いて、その基盤技術とさま
ざまな素材供給力により、
極めて重要な役割を担うセ
クターである。
そして、環境規制への対
応といった受け身ではな
く、社会全体の変革を牽引
する「ソリューションプロ
バイダー」役の産業として、
持続的な成長と国際競争力
の強化につながる前向きな
戦略的機会と捉えている。
日本化学工業協会ではこ
うした考え方のもと、先
般、「カーボンニュートラ
ル、循環型社会の実現に向
けた日本の化学産業のスタ
ンス」を公表した。205
0年に向けて、現在そして
将来における技術、経済
性、社会の変化を鑑みなが
ら化学界として実現すべ
き目標とその実現に向けた
課題、手段について、あら
ためて整理した。
当協会が描く「あるべき
姿」は、化学産業が自らの
変革を通じて持続可能な生
産システムを確立しつつ、
その独自の技術と製品で社
会全体の脱炭素化を強力に
後押しするというものだ。
また、化学産業が単なる
「資源を消費する」産業か
ら、「資源を創造し、循環
させる」主体へと変革する
ことにある。引き続き、さ
まざまな施策の具現化、社
会変革を進めていく。

石油化学産業、持続的発展目指す

日本を取り巻く国際情勢
はウクライナ問題や中東紛
争などの地政学的リスクに
加え、米国トランプ政権に
よる関税政策が引き起こす
世界経済の混乱などによ

り、不透明な状況が今後も
しばらく続くこと見込まれ
る。
わが国の石油化学産業は
人口減少に伴う内需の縮小
に加え、中国をはじめとす
る大規模設備の新増設によ
る供給過剰が重なり、厳し
い事業環境に直面してい
る。こうした中、石化業界
は原点に立ち返り、「人ひ
との暮らしや他産業を支え
るエッセンシャルインダス
トリ」として、日本の経済
・社会を支えていくこと
が重要だ。
さらに、「カーボンニュ
ートラルの実現」や「循環
型社会の構築」といった社
会的使命に挑戦し、産業構
造の転換をリードしていく
ことが求められている。



石油化学工業協会 会長

工藤 幸四郎氏

今年度の取り組みでは、
まず製造業の基盤であり、
石化産業にとって最重要課
題である「保安・安全の確
保」に注力する。加えて、
石化産業の国際競争力を維
持するための「事業環境の
整備」、国際規制や環境課
題への対応を含む「グロー
バル課題への対応」の三本
柱を重要課題として掲げ
る。
これにより、わが国の石
化産業の持続的な発展と、
日本の経済社会の健全な成
長への貢献を目指して事業
を推進していく。
また、カーボンニュート
ラルと循環型経済の実現に
向けて、石油化学コンビナ
ートは製造業のサプライチ
ーンの起点であり、環境
に配慮した「持続可能なコ
ンビナート」への転換が求
められている。地域の環境
・エネルギーインフラのハ
ブとして機能させること
で、脱炭素化と資源循環を
促進していく。さらに、化
学産業の革新技術を活用し
てバイオ原料化、二酸化炭
素（CO₂）の原料化、リ
サイクル、新素材開発など
を通じて、持続可能な社会
の実現を力強く牽引してい
きたい。

持続可能な社会―構築に貢献

日本化学会は最も歴史あ
る化学系学会であり、若手
人材の育成を通して、世界
を先導する研究および技術
開発による基礎科学の発展
ならびに社会実装を行い、

「夏休み子ども化学実験
ショー」を開催している。今
年も科学技術館で化学実験
ショーを行い、2日間で6
000人近くの子どもが参
加した。さらに、「化学グ
ランプリ」「国際化学オリ
ンピック」事業を通して、
才能ある中高生の発掘に努
めている。特に、化学グ
ランプリ（通称「化学の甲子
園」）は毎年約3000人の
応募があり、その中から筆
記・実験試験を経て70〜80
人の成績優秀者（いわゆる



日本化学会 会長

丸岡 啓二氏

金の卵）を表彰している。
今後は、彼らの傑出した才
能を大いに伸ばす「金の卵
育成プログラム（仮称）」
を始めたい。
化学グランプリで表彰さ
れた中高生を対象に、世界
で活躍できる次世代の高度
博士人材育成のため、全国
規模で大学から大学院博士
課程における支援プログラ
ムを新たに設立していく。
これにより、小学生から大
学院生までのシームレスな
若手育成事業が実現する。
一方、日本化学会は持続
可能な社会の構築に向け
て、さまざまな産学連携活
動を行なっており、「CCT
Oサミット」の企画では、
カーボンニュートラルやサ
イクル・エコノミーへの
取り組みなど循環型社会の
実現に向けた支援を行って
いる。
日本化学会は3年後の2
028年に設立150周年
を迎え、現在、記念事業を
計画している。その中で、
日本化学会が次世代を先導
する若手人材育成事業や循
環型社会の構築を目指す
産学連携活動など未来志向
の事業を展開するために
も、産業界の強力な支援を
いただきたい。



極限を追求する
少しでも速く
少しでも強く
少しでも細く
少しでも薄く
少しでも前へ
ここが限界なのか？
そんなはずはない
あと一回
もう一回
粘り続ける
誰かの心を
地球環境を
豊かにできると信じて

想像を超える。
技術の力で。



サステナブルを、化学のPOWERで。

For Your Dream & Happiness





社会と分かち合える価値の創造。

時代のニーズをとらえ、持続的な社会の成長に貢献すること。

それが、私たちの使命です。限らない、技術の挑戦へ。

これからも、化学のチカラで多様なソリューションを提供します。



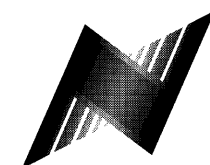
三菱ガス化学

mitsubishi GAS CHEMICAL

つくろうよ。



未来のための、
はじめてをつくる。



Nissan Chemical
CORPORATION
日産化学株式会社



半導體材料

AIブームに乗れ!!

半導體

化学各社は半導体材料事業に成長を計ず。未曾有の生成A-1（人工知能）投資ブームを背景に、先端半導体の需要が急増し、材料もその恩恵を受けている。石油化学など既存事業に高成長が見込めない以上、目先の成長戦略は半導体一択となる。旺盛な需要を取り込むべく、各社の投資競争も激しくなる。

新工場

旭化成は静岡県富士市での既存工場内に先端半導体向け感光性絶縁材料「パイメル」の製造設備を増設する。投資額は約160億円。資本金は約160億円。2028年度上期の商業運転開始を予定。24年12月に新工場(写真1)を完成させる。たばかりだが、間断なく生産能力増強に踏み切る。

米國増産体制

(TSMC) など主要顧客から半導体材料の引き合いが強い。新工場の建屋内に製造設備を導入する。30年時点の生産量は24年度比で2倍になる見通し。

【写真2】レゾナック主導で「JOINT 3」を設立

三菱ガス化学は26年度に向けて、半導体製造時のウエハ洗浄に使うE1薬品の増強工事を米国、台湾、シンガポールなど各拠点ですれも終盤を迎えている。特に米国では国内外の半導体メーカーの設備投資が活発化し

して生産体制を早期に
拡充する。

半導体市場はAIや車載といった用途の拡大を背景にグローバルで長期的な成長が予想される。

3 割増産

日本ゼオンは約780億円を投じ、山口県周南市に高機能樹脂シクロオレフィンポリマ(COP)の生産プラントを建設する。28年度上期の完成を目指す。生産能力は現状比約30%増の年間約5万4000トとなる。光学フィルム・レンズの需要拡大中の半ば

する。

する。総事業費は2

6 知

THE

こふれ
みかた
スマー

で働く
“世界
立た
選ば
世界の
らしを

国内で海外で **新工場・増産 設備投資が活発化**

強化の二環（後援）
佐に不可欠なバックゲ
ジの技術革新に貢献す
で、徳山工
場（山口県
周南市）に
15,5×510³リットル以
上のパネルレベル有
機インターポーザーに
適した材料・装置・設
計ツールの開発を目指
す。同社は茨城県結城
市の既存工場内に同パ
ラットフォームの活動
拠点を開設し、試作ラ
インを導入する。5年
間の事業となる。

インターポーザーは
複数の半導体チップを
接続する役割を持ち、
次世代パッケージの重
要技術とされる。サイ
ズの大型化とシリコン
から有機材料への移行
が進み、パネル形状に
することでインターポ
ーザーの取り数を増や
せる利点がある。

三井化学も24年10
月、名古屋工場（名古屋
市南区）に半導体材料
の新研究開発拠点
「クリエティファイン
テグレーションラボ」
を開設した。顧客との
共創を通じてソリュー
ション提案力を強化し、
次世代半導体の後
工程材料の事業化を急
ぐ。

Chemistry at Work

世界のインフラ整備。
進化しつづける自動車や人工知能。
私たちの塩化ビニル樹脂、
半導体シリコン、シリコン、
電子材料といった素材は、
社会の発展を支え、
暮らしを豊かにしています。
信越化学グループは、
素材と技術で地球の未来に
貢献していきます。

Shin-Etsu
信越化学工業株式会社

いろいろな世界一、
発売中。

ふだん目にふれることはなくても、世界の進みかたを決めているものがある。

たとえば、スマートフォンにも、クルマにも、データセンターにも。その核心で働くのは、いくつもの“世界一[※]”を重ねた、わたしたちの材料。

それは、目立たない。けれど、技術を極めることで、信頼され、選ばれつづけている。

きょうも、世界のどこかで。誰かの暮らしを、誰かの未来を、そっと、力強くうごかしている。

5つの半導体材料で
世界シェアNo.1※

RESONAC
Chemistry for Change

※富士キメラ総研2024年調べ、
富士経済2024年調べ

化学におけるコタエとは、
つまり無限の可能性のことだ

コタエを、ダセル。
DÄICEL

Tomorrow's solutions, today

はたらきを化学する。

三洋化成
Sanyo Chemical

三洋化成 検索 

www.sanyo-chemical.co.jp/

世界の成長市場に照準

農薬

人口増加—食料需要増大



日産化学は水稲用一発処理除草剤「ディオーレ」を展開する

世界人口の増加や新興国の経済発展などを背景とした食料需要の拡大から、世界の農業市場は成長が見込まれる。日本農業は農薬殺菌剤を開発し、日産化学は除草成分「アルテア」を最大量10g配合した水稲用一発処理除草剤を手がける。クレハはナタネの収量増が認められる「メトコナゾール」を展開。信越化学工業はフェロモン製剤を手がけており、害虫の交尾を阻害して次世代の発生を抑制に寄与する。

日本農業は農薬殺菌剤「バレード20フロア」を開発。日産化学は水稲用一発処理除草剤「ディオーレ」を展開する。新発成分「ディオーレ」を最大量10g配合した水稲用一発処理除草剤を開発し、除草効果も強化している。また、年々雑草の地上部だけでなく、地下部も抑える除草成分「アルテア」を最大量10g配合した水稲用一発処理除草剤を開発している。1年生雑草「フビエ」への効果も期待されている。

40カ国で農薬登録

農業用殺菌剤「バレード20フロア」は、現在では欧州や北米、南米を中心に麦類やトウモロコシ、ナタネなどの殺菌剤として使用されている。メトコナゾールの成長調節作用により、収量が増加する効果が認められている。

環境生物・昆虫に影響少 水稲向け—地下部も除草

環境生物・昆虫に影響が少ない水稲向け除草剤。地下部も抑える除草成分「アルテア」を最大量10g配合した水稲用一発処理除草剤を開発している。1年生雑草「フビエ」への効果も期待されている。



日本農業は農薬殺菌剤「バレード20フロア」を手がける

害虫の交尾阻害…次の発生抑える

殺菌剤の有効期間は短いが、フェロモン製剤は効果が持続する。フェロモン製剤は、害虫の交尾を阻害し、次世代の発生を抑制する。天敵などの益虫や他の生物に対する悪影響が無く、自然界が本来持っている力を活用した防除方法として有機農産物JAS規格での使用が認められている。

KUREHA

ナケレバ、ツクレバ

夢がなければ—つくればいい。希望がなければ—つくればいい。元気がなければ—つくればいい。コドモの頃を思い出そう。無敵のヒーローだって、タイムマシンだって、自分のアタマで、素敵につくりだしてたよね。今ないものを思い描く「発想力」が、クレハの強み。それをカタチにする「技術力」が、クレハの誇り。ナケレバ、ツクレバ。どこにもない今日を、想像もつかない明日を、どんどんつくれば—未来がもっと好きになる(と、いいね)。

株式会社クレハ 〒103-8552 東京都中央区日本橋浜町3-3-2

なぜ今、糖鎖が注目されているのか？

～「糖鎖」で、バイオ医薬品にさらなる機能性向上を～

水溶性
血中滞留性
生体適合性

KHネオケムの糖鎖ソリューションはこちら 

「化学の力」で、よりよい明日を実現する。
KH NeoChem
KHネオケム株式会社
www.khneochem.co.jp

© 2025 サイトウユウスケ



つなぐ、人と地球の未来

ANECT



Now Challenging Transformations

新ケミカル商事株式会社

化学品・製鉄関連・樹脂・建材・アグリ

北九州本社：〒802-0002 福岡県北九州市小倉北区京町 3-1-1 セントシティ北九州8F
東京本社：〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル8F・11F
国内拠点 / 札幌・室蘭・東京・君津・東海・大阪・広島・北九州・大分
海外拠点 / 上海・香港・台湾・シンガポール



より安全で最適な、
ケミカル物流のために。

2024年6月より
開設

危険物第4類
第1～第4助燃物油類
対応可能

五箇町事業所

市川事業所

柏事業所

柏第2事業所

京葉油槽所

つくばみらい倉庫

事業内容

・通関業務代行
・保管(保税対応)
・ドラム・小缶充填

・加温・詰替・荷姿変更
・配送手配

施設紹介

■タンク 京葉油槽所
・全タンク・ライン all ステンレス
・総保管量(63基)34,520kl
1タンク・1ラインの安全品質

■倉庫 市川事業所 柏事業所 柏第2事業所
五箇町事業所 つくばみらい倉庫
・危険物倉庫 第2類 / 第3類 / 第4類
・普通品倉庫 定温保管(危険物・普通品)
・毒劇物保管 保税蔵置

善丸善 株式会社

丸善チャンネルで
案内動画公開中 →



■本社：〒136-0072 東京都江東区大島 2-31-6 ■市川事業所：〒272-0002 千葉県市川市二俣新町 19 番地
■柏事業所：〒270-1403 千葉県貝井市河原子 244-6 ■柏第2事業所：〒270-1403 千葉県貝井市河原子 356-1
■五箇事業所：〒306-0313 茨城県猿島郡五箇町元栗橋 ■つくばみらい倉庫：〒300-2302 茨城県つくばみらい市理穴 1389
【お問い合わせ先】 TEL：047-328-3101(代表) FAX：047-328-0665 URL：https://www.maruzeng.co.jp

化学品商社・物流企業

広がる活動領域

化学品の流通・経済発展に貢献



グローバル化で高まる化学品流通の重要性

5部門に再編、中計推進

新ケミカル商事は2023年以降、事業部を5部門に再編し、中計を推進している。各社ともに独自の強みを生かした取り組みを進めており、その活動領域はさらに広がりをみせている。半導体や医薬品といった成長分野での展開も活発化し、注目されている。

医薬品ー第2の柱

日光ケミカルは、医薬品分野での活動を強化している。特に、外用剤や界面活性剤などの供給に力を入れている。また、海外市場への展開も積極的に行っている。

米アリゾナに拠点開設

NRSは、米国アリゾナ州に新たな拠点を開設した。これは、同社のグローバル戦略の一環として、北米市場への浸透を図るための重要なステップである。

通関・保管・配送…一貫物流

1999年に創業した丸善は、通関・保管・配送の一貫物流サービスを提供している。顧客のニーズに応えるため、充填、小分け、抜缶、加温作業など、特殊作業を含むマルチワークスサービスを提供している。

課題を解決

・製剤の安定化や感触の改良
・界面活性剤や油剤などの原料選定

その他支援

・海外市場進出の支援
(中国DMF登録サポートなど)

外用剤 製剤開発・技術サポート

支援体制

・R&D技術者による支援
・開放研究室にて課題解決のサポート
・オンラインでの迅速な対応も可能

日光ケミカルズ株式会社

www.nikkol.co.jp
当社の取り組みや最新情報を発信





国内拠点

◆輸送事業所 ■倉庫
○コンテナデポ ★油槽所



一般品倉庫(定温)

危険物倉庫(定温・常温)

ISOタンクコンテナ置き場

高圧ガス貯蔵所

輸送事業

半導体材料・高圧ガス・化学品・危険品の保管・輸送

NRS NRS株式会社





「金1」「銀3」

国際化学オリンピック

「第57回国際化学オリンピック アラブ首長国連邦大会」が、7月5日から14日までアラブ首長国連邦(UAE)のドバイで開催され、参加した日本代表生徒4人全員がメダルを獲得した。

奈良工業高等専門学校3年の渡邊周平さんに金メダルが、麻布高校3年の天野春翔さん、筑波大学附属駒場高校3年の井戸沼悠成さん、三田国際科学学園高校3年の早田茂さんに銀メダルが授与された。

今大会は、90カ国・地域から354人の生徒が参加した。金メダルは上位10%、続く20%に銀メダル、続く30%に銅メダルが授与された。

国際化学オリンピックは1968年にハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランドが始めた高校生の学力試験から発展し、1年に1度開催される「化学」の国際大会。世界の高校生が一堂に会して化学の実力を競うと同時に親交を深めることを目的とし、日本は2003年のギリシャ・アテネ大会から参加している。

26年の第58回国際化学オリンピックは、ウズベキスタンで開催される予定。

10月23日

化学の日

「第57回国際化学オリンピック」に参加した日本代表生徒(左から天野さん、井戸沼さん、渡邊さん、早田さん=日本化学会提供)

化学グランプリ

夢・化学-21

若い世代にアプローチ

化学の役割 発信

イベント

「化学グランプリ」2次選考を実施する参加者

「化学の日」10月23日を含む週(日曜日・日曜日)を「化学週間」に制定している。あらゆ

「化学の日」は、中高校生に化学への興味と関心を喚起し、化学に関する知識や理解力、問題解決能力などを試す全国規模の大会。国際的にも通用する若い化学者を育成することを目的として、1998年に「夢・化学21」委員会と日本化学会化学教育協議会が東京と仙台の2カ所で開催したのが始まり。

99年から全国規模で開催し、「化学グランプリ2025」は1次選考に2476人が参加した。実戦を伴う2次選考には成績上位者77人が参加し、大賞5人のほか、金賞に15人、銀賞に20人、銅賞に37人を選んだ。また、日本化学会特別賞、「夢・化学」21委員会特別賞、メルク株式会社特別賞、工学院大学長賞の4賞が設けられ、計4人が表彰を受けた。

化学グランプリで優秀な成績を取った生徒を中心に、国際化学オリンピックへの代表候補生徒を選抜している。化学グランプリ参加者のうち、高校2年生までの成績優秀者約20人を代表候補生徒として認定し、選抜試験を経て代表生徒を決定する。

日本の化学と化学産業を代表する化学4団体は10月23日を「化学の日」、10月23日を含む週(日曜日・日曜日)を「化学週間」に制定している。あらゆる物質に含まれる原子や分子の数の基本となるアボガドロ定数の数6.02×10の23乗に由来する。

子どもたちや一般の人を対象に化学への理解を促し、化学の力や魅力、化学製品の役割を発信する。アカデミア、化学産業が一体となつて制定していることから、産学連携の促進にも貢献する。

大学、研究機関、化学メーカーが独自に行っていた実験教室や見学会などのイベントを、化学の日・化学週間に合わせて行うことで、化学のおもしろさや魅力を伝えていく。

また、日本化学会は15年から「化学の日缶バッジデザイン公募」に取り組んでおり、25年度版「化学の日缶バッジ」は12月に各賞の発表を予定している。

化学を身近なものとするため、さまざまなイベントが各地で開催される。学校の先生が講師として本格的な実験を行う「なぜなに?かがく実験教室」が、11月8日に科学技術館(東京都千代田区)で開催される。同実験教室は小学1年生から4年生までを対象に年6回(奇数月)行われている。

また、大阪教育大学柏原キャンパス(大阪府柏原市)では公開講座が設けられる。11月8日は中学生を対象にした「中学生のための楽しいかがく教室」が、15日は小学生高学年と保護者のペアを対象にした「子と親の楽しいかがく教室」が開催される。

未来を支える

化学関連団体

化成品工業協会

会長 高橋弘二

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-44(福吉坂ビル)

電話 03(3585)3371

(一社)触媒工業協会

会長 遠藤 晋

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-2(H・Iビル)

電話 03(5687)5721

石油化学工業協会

会長 工藤幸四郎

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1(住友不動産六甲ビル)

電話 03(3297)2011

(公社)日本化学会

会長 丸岡啓二

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5(化学会館)

電話 03(3292)6161

(一社)日本化学工業協会

会長 岩田圭一

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1(住友不動産六甲ビル)

電話 03(3297)2550

日本石灰協会

会長 上田和男

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-21(新虎/門実業会館)

電話 03(3504)1601